

① 新船「めおん」建造の経緯

「めおん」（昭和62年就航）は、就航から34年が経過し老朽化が進み、安全・安定的な運航に支障が出ていたため、「男木～高松航路改善計画」（平成29年3月策定）に基づき、島民や事業者など航路利用者のニーズ、建造後の収支の見通しなどから、「めおん2」と同規模のフェリーの建造となった。

② 就航までの経過

▼新船については、「鉄道・運輸機構」との共有船
（持分割合 鉄道・運輸機構：雌雄島海運株式会社＝80：20）

令和元年度			令和2年度											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
契約			建造				起工			進水			竣工・就航	

③ 新船「めおん」の概要

広島県呉市(株)神田造船所で建造

令和3年2月28日
高松発 14：00便から 就航

就航式の様子



欄間



- ・外装と内装デザインは(株)ドットアーキテクト（代表：家成俊勝）が手掛けた。
- ・赤と白のツートンカラーから赤と白のしましま模様へ一新。
- ・見晴らしがよい大きな窓を設置し、瀬戸内の多島美を270度見渡せる開放感溢れる空間を実現。
- ・高松市の伝統工芸である「欄間」を取り入れ、男木島と女木島を表現。

主要要目

要目	新船「めおん」
船型	鋼製 旅客船兼自動車渡船
総トン数	290 t
旅客定員	280名 (臨時定員420名)
自動車 積載台数	13台
車両積載エリア	153㎡
全長	32.5m
幅	10.5m
深さ	3m
主機関	ディーゼル1,030 k w
船質	鋼
ランプゲート	船首側（既存船同様）
省エネ設備	省エネプロペラ装備
最大速力	12ノット
航海速力	11ノット
バリアフリー基 準	バリアフリー室装備
救命設備	旅客定員全数 救命胴衣装備

新船「めおん」の新型コロナウイルス感染症対策

- ・抗菌・抗ウイルスコーティング加工
- ・人体に無害なウイルス不活性化剤「エコキメラ」を使用
- ・除菌装置を搭載したエアコンを採用し、船内の換気性を高め、常時換気の徹底
- ・飛沫防止対策の亚克力板を客室内全席に設置
- ・空気循環式紫外線清浄機の設置 etc..